

女満別空港の
30年後の将来イメージ

オホーツクの比類なき大自然や ひがし北海道広域周遊観光のゲートウェイ

旅客ビル施設拡張・リニューアル
(オホーツクショーケース)

自然美と機能の融合



瞬感、
オホーツク・ネイチャーフィールド



温度管理設備を備えた
貨物ビル施設(新設)

旅客ビル拡張・リニューアル
のための事務所棟新設

個人旅行者向けのリーズナ
ブルな価格のホテル(新設)

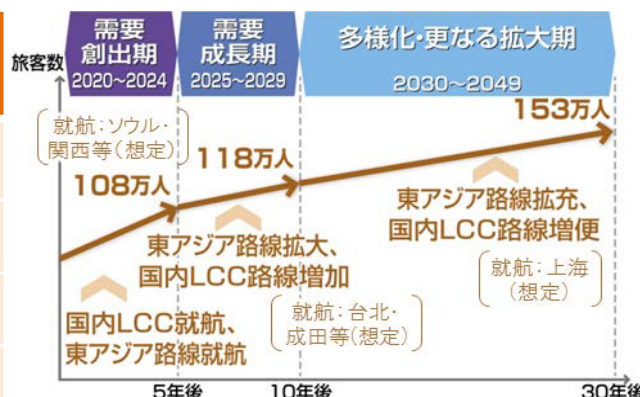
常時受け入れ可能な
国際線取扱施設(増設)

女満別空港の目標値

	2017年度	2024年度 (5年後)	2049年度 (30年後)
旅客数	83万人	108万人	153万人
国内線	83万人	101万人	139万人
国際線	0万人	7万人	14万人
貨物量	17百トン	19百トン	23百トン

(※四捨五入により合計が合わない場合がある)

女満別空港の成長ステップ



女満別空港の航空ネットワーク(30年後の想定)



航空ネットワークの充実

＜LCC誘致による新規需要創出＞



- 国内LCC路線（成田、関西、新千歳等）の誘致による新たな需要創出
- 東アジアからのチャーター便・定期路線の誘致
- LCC等の新規就航を促す割引・インセンティブの導入

ひがし北海道広域観光の推進

＜オープンジョーによる周遊観光イメージ＞

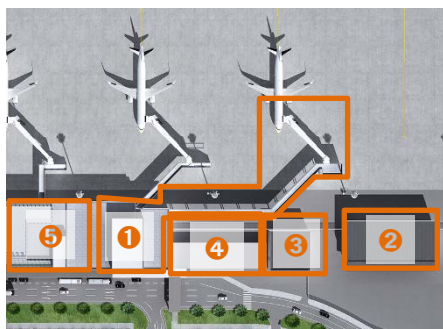


- 発・着を別の空港とする道内オープンジョーを利用したひがし北海道広域観光の促進
- 釧網本線・エクスプレスバス等を活用した釧路・女満別間の観光流動の促進、沿線地域の活性化
- 旭川方面－オホーツク間の観光流動の促進

空港施設運用

■ エアライン受入環境の整備／利用者利便性の向上

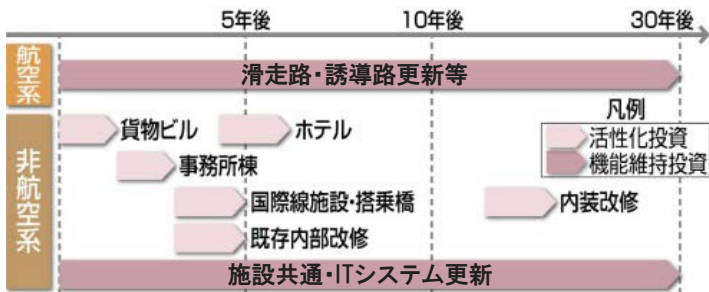
＜30年後の施設等配置図(案)＞



- 出発到着同時受入可能な国際線専用施設の整備(①)
- 温度管理設備を備えた貨物ビル新設(②)による地域産品の移輸出促進
- 旅客ビル拡張・リニューアルのための事務所棟の新設(③)
- 個人旅行者向けのリーズナブルな価格のホテル誘致(④)
- グランドハンドリング体制の強化

■ 設備投資戦略(30年間の投資総額(想定)約172億円)

- 運営開始当初5年程度で30年間の成長基盤を構成



■ 空港全体のオホーツクショーケース化

＜商業エリアの充実＞



- 旅客ビル拡張・リニューアル(⑤)により、以下の利便性向上を実現
 - ✓オホーツクの比類なき大自然を体感できる空間演出
 - ✓地場产品中心の飲食・物販導入等の商業エリア充実
 - ✓観光コンシェルジュによるオホーツクの魅力発信

地域との連携・共生

■ オホーツク観光の促進

- 自治体・DMO等地域一体でのオホーツク圏のブランディング
- 地域の関係者と協働した体験型観光商品の企画・PR・販売
- 交通事業者との協働による観光地へのアクセス向上

■ 地域との共生

- 騒音監視や情報公開等、周辺住民の生活環境への配慮
- インターン受入、観光・物産商品の企画・販売等、地元大学等との連携、交流

＜観光地へのアクセス向上＞

